

地元の味！ くらしを大切にする店



主婦の店

赤穂民報

発行所
赤穂民報社
赤穂市加里屋駅前町58-18
TEL 43-1886
FAX 46-2626
編集人
広島秀紀

設計、住宅、お店、不動産
木の家おきに入りのくらし
アーバンハウス株式会社



赤穂市文化財保護審議会(会長・木村重幸・元甲南女子大学教授)は24日、延宝年間に発行された「赤穂浅野家藩札」2件と「塩屋荒藩札」2件を市教委へ答申した。31日の告示で正式決定する見通し。

定文化財に指定することについて「適当」として市教委へ答申した。31日の告示で正式決定する見通し。

「赤穂浅野家藩札」は浅野長知時代の延宝8年(1680)1月、銀十枚、銀一枚、銀五分、銀三分、銀二分の5種類が発行された。

元禄赤穂事件で同家が改易となる元禄14年(1701)まで21年間流通した。改易に伴って回収後に焼却処理された。

内閣文庫所蔵の銀十枚札と、別の同市内個人が所蔵する銀二分札。銀十枚札(縦16・2枚)、銀二分札(縦3枚)の図柄は表面が普賢菩薩で裏面はは戸神。

横4・0枚、横4・0枚)は表に神仙と鶴龜、裏面は表に麒麟が刷られている。

市指定無形民俗文化財(風俗慣習)に指定される「塩屋荒神社屋台行事」は赤穂市域で約30ある秋祭りの中で行われる。

本義廣、高欄掛と水引幕の刺繡は三代目絹常の彫り物明治期に播州地方の社寺や屋台彫刻の大半を手掛けた松本一門の祖、初代・松本義廣、高欄掛と水引幕の刺繡は三代目絹常の彫り物明治期に播州地方の社寺や屋台彫刻の大半を手掛けた松本一門の祖、初代・松

4力所しかない屋台行事の一つ。古文書によれば、天保10年(1839)にすでに行われていた。明治期までは毎年9月15日を祭日として、その後10月25日に近い土曜、日曜に開催されていた。

現在は10月25日に近い土曜、日曜に開催されている。

毎年9月15日を祭日とし、その後10月25日に近い土曜、日曜に開催されている。

